

## Q7 仕事との両立は可能でしょうか？

HIV感染症と診断されても、あわてて仕事をやめる必要はありません。現にHIV感染者の多くは、それまでの生活を大きく変えることなく生活しています。あなたも仕事と治療が両立できるよう工夫してみましょう。

仕事の都合などで定期受診が難しい場合には医療スタッフに相談してください。通いやすい場所にある医療機関や、通いやすい時間帯に受診可能な医療機関を紹介できるかもしれません。

HIV感染症の受診間隔は1~3か月に1回程度です。確実に受診できるように調整しましょう。

## Q8

## 医療費はどのくらいかかりますか？

定期受診にかかる費用は、健康保険を使用した3割負担で、内服治療開始前は7千円程度、また、内服治療開始後は、6万円前後の薬代が追加でかかります。しかし、患者さんが安心して医療継続できるよう、いくつかの社会的な支援制度があります。

★社会保障制度の申請については、お住まいの市区町村の障害福祉課や、病院の医療ソーシャルワーカー・看護師などに相談してみましょう。

### 医療費の助成制度

高額療養費制度	被保険者の1か月の医療費自己負担が限度額を超えたときに、超えた分が支給される。食事代、文書料、差額ベッド代は除く。 *限度額認定証の交付を受けている場合は、自己負担限度額の支払いとなる。	加入している健康保険
重度心身障害者医療費助成	身体障害者手帳を持っている人に対し、医療費の自己負担分が助成される。等級制限、所得制限がある。	市区町村
限度額適用認定証	治療のために入院が必要となった場合、本証を医療機関に提示すれば、医療費の自己負担額が限度額までとなる。	加入している健康保険
障害者自立支援医療	18歳未満で障害のある人、または18歳以上で身体障害者手帳を持っている人に対し、特定の治療（HIV治療）にかかる医療費が助成される。所得に応じた自己負担あり。	市区町村

### 生活費を補償する制度

傷病手当金	被保険者本人が病気のために欠勤し、給料を受けられないときに支給される。国民健康保険は保健組合の一部のみで支給。	加入している健康保険
障害年金	病気やけがが原因となった心身の障害の状態のために、日常生活や労働に著しい制限がある人に支給される。	国民年金課 年金事務所
生活保護	生活を維持するために必要な収入が得られない人に保護費を支給する。	市区町村

# Q9 各ライフステージで 気をつけることは何ですか？

## 女性のライフステージと病気や生活について

ライフステージ	思春期 (8~18歳)	成熟期 (18~45歳)	更年期 (45~55歳)	老年期 (55歳~)
起こりやすい疾患	<ul style="list-style-type: none"> <li>摂食障害</li> <li>貧血</li> <li>無月経</li> <li>月経前症候群</li> <li>月経困難症</li> <li>性感染症</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>不妊症</li> <li>乳がん・子宮がん・卵巣がん</li> <li>早期閉経</li> <li>性感染症</li> <li>子宮内膜症</li> <li>子宮筋腫</li> <li>貧血</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>更年期障害</li> <li>排尿トラブル</li> <li>骨粗鬆症</li> <li>生活習慣病</li> <li>乳がん・子宮がん・卵巣がん</li> <li>性感染症</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>排尿トラブル</li> <li>萎縮性膀胱炎</li> <li>骨粗鬆症</li> <li>子宮がん</li> <li>卵巣がん</li> </ul>
ライフイベント	<ul style="list-style-type: none"> <li>初潮</li> <li>学生生活</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>就職</li> <li>結婚・妊娠・出産・育児</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>閉経</li> <li>家族関係の変化</li> <li>親の介護・子供の自立</li> <li>老いの受容</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>退職</li> <li>配偶者の介護</li> </ul>
HIV感染症をもつ女性の課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>家族計画 p.16~17</li> <li>母子感染予防 p.18~20</li> <li>出生児のフォロー p.20~22</li> <li>育児支援 p.23</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>長期服用による副作用</li> <li>生活習慣病指導, 相談</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域でのサポート (生活・療養)</li> </ul>
	*各ステージ共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的な受診</li> <li>抗HIV薬の確実な服用</li> <li>その他合併症のコントロール</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種健診の実施</li> <li>婦人科検診</li> <li>性感染症予防と避妊</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パートナー健診</li> <li>療養と生活の両立</li> </ul>

女性特有の症状など、男性医師には伝えにくいことがあるかもしれませんが、そのようなときは看護師やその他のスタッフに伝えてみましょう。

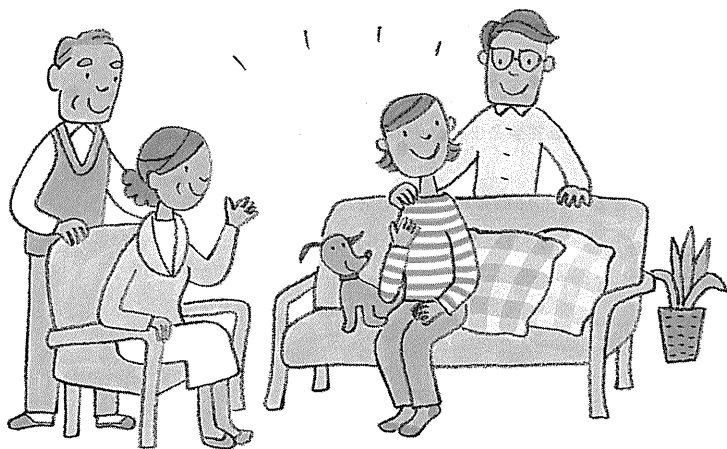
対処方法は、各Q&Aのページを参照してください。

# Q10 妊娠・出産はできるでしょうか？

## ◆これから妊娠を望む方

妊娠・出産は可能です。しかし、自然妊娠ではパートナーに感染リスクが生じます。一部の医療機関では、女性感染者と夫との間で人工授精を実施していますが、妊娠・出産にあたっては治療方針の変更（妊娠中も継続可能な抗HIV薬を選択する、など）や生活環境の調整が必要な場合もあるため、医療スタッフと相談し、計画的に妊娠することが望ましいと考えます。

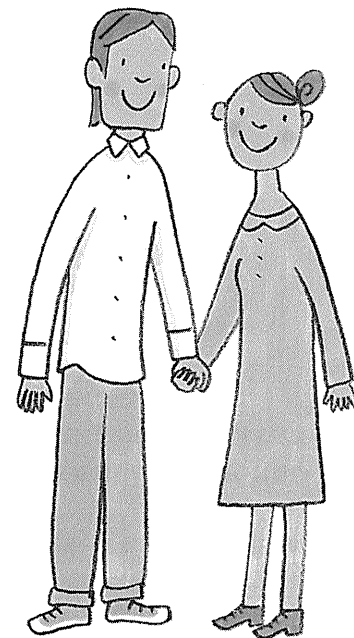
これらの点も含め、子どもを望むかどうかは家族内での話し合いを重ねながら慎重に決定することをお勧めします。「将来的には子どもがほしい」と思っている方も、医療スタッフに相談してみましょう。



## ◆妊娠後にHIV感染がわかった方

適切な治療と母子感染予防対策を行えば感染率を0.5%以下に抑えられるようになってきました。妊娠・出産・子育てをしている女性感染者も増えてきています。

HIV感染という診断を受けて、あなた（とパートナー）は妊娠を継続するかどうかで迷っているかもしれません。病気を抱えての妊娠・出産・子育てに不安を感じることもあるかもしれません。感染が判明したら、早期に妊娠を継続するか決める必要があります。HIV感染症・治療法・治療の見通しについて、妊娠継続した場合としない場合の両方の経過を理解できるようにお話します。それでも迷うかもしれませんが、自己決定できるようお手伝いさせていただきますので、そのような時は、遠慮せずに医療スタッフに相談してください。あなたの力になれると思います。



## ◆自己決定のためのお話内容

- 妊娠継続した場合としない場合の両方の経過
- 母子感染の概要と予防法、母子感染のリスク、児の経過など
- 感染していない児の予防薬の影響、長期的な発育・発達について
- 感染児の経過

Q11

母子感染を防ぐには どうすればよいのですか？

母子感染予防対策

- 妊婦のHIV感染の早期診断
- 抗HIV薬を服用し分娩時のウイルス量を少なくする
- 分娩時にはレトロビルを点滴する
- 分娩方法は予定帝王切開とする（分娩日をあらかじめ決めておく）
- 止乳する（母乳を止めて、粉ミルクを用いる）
- 赤ちゃんに抗HIV薬（レトロビルシロップ）を6週間飲ませる

妊娠中から次のような母子感染予防対策をとります。この対策によって、日本では赤ちゃんの感染率は0.5%以下になつてきています。



お母さんの対策

◆ 抗HIV薬の服用

これまで、抗HIV薬は胎児の奇形が心配な妊娠初期を避け、妊娠14週以降から服用することが推奨されてきましたが、米国の最新治療ガイドライン（2014年3月）\*では、「治療（抗HIV療法）が必要な妊婦さんについては、14週まで待たずに、できるだけ早く予防内服を開始することが望ましい。すぐに治療を開始する必要のない妊婦さんについても、早期に予防内服を開始することが望ましい」と変更されました。ただし日本では、すぐに治療開始の必要がない場合には、妊娠14週以降に遅らせることを考慮しています。

また、催奇形性のあるストックワリンの内服について、上記のガイドラインでは、「ストックワリンを内服している女性の妊娠が判明したときは、内服継続が可能」となりましたが、日本では他の薬剤に変更することが多いです。

抗HIV薬の胎児に対する影響は完全にはわかっていません。医師とよく話し合つて薬剤の選択や開始時期を決めましょう。

\*Department of Health and Human Services (DHHS) Panel on Treatment of HIV-Infected Pregnant Women and Prevention of Perinatal Transmission. Recommendations for Use of Antiretroviral Drugs in Pregnant HIV-1-Infected Women for Maternal Health and Interventions to Reduce Perinatal HIV Transmission in the United States. March 30, 2014

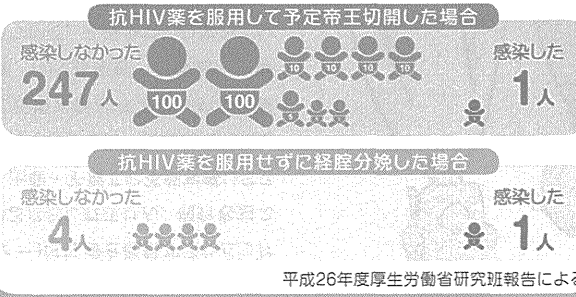
◆ 分娩は帝王切開術

陣痛(子宮の収縮)が始まると、お母さんの血液が胎盤を通して子宮内の赤ちゃんに接触する可能性があります。これを防ぐため、陣痛の起こる前に赤ちゃんを母体から帝王切開術で取り出してあげます。

近年、欧米では、治療でウイルス量を抑えられている妊婦は経膈分娩も可能という考え方になつつありますが、その根拠が明確ではなく、また医療機関においても適切に対応できる体制が十分整っていない場合もあるので、日本では赤ちゃんの感染防止を第一に考えて、予定帝王切開術を推奨しています。

ただし、帝王切開術を選択することに妊婦さんの同意が得られない場合や、急に陣痛が起こり帝王切開術が間に合わない場合、破水後長時間たっている場合などは経膈分娩が選択されることがあります。

出産方法による母子感染率の違い（2000年以後）



妊娠中の  
注意点

- 予定帝王切開術の前に陣痛や破水が起きた場合は、すぐに病院に連絡してください。あわてないように、あらかじめ医療スタッフと連絡先や方法を決めておくとうれいでしょう。
- 病気を抱えての妊娠・出産で不安もあるかもしれませんが、医療スタッフがサポートしますので、安心してゆったりとした気持ちで過ごしてください。

## 赤ちゃんの対策

### ◆ 赤ちゃんへの投薬

赤ちゃんには感染予防のためにレトロビルシロップを6週間飲ませます。それにより貧血などの副作用が出る場合がありますので、必ず医師の指示に従って受診するようにしてください。

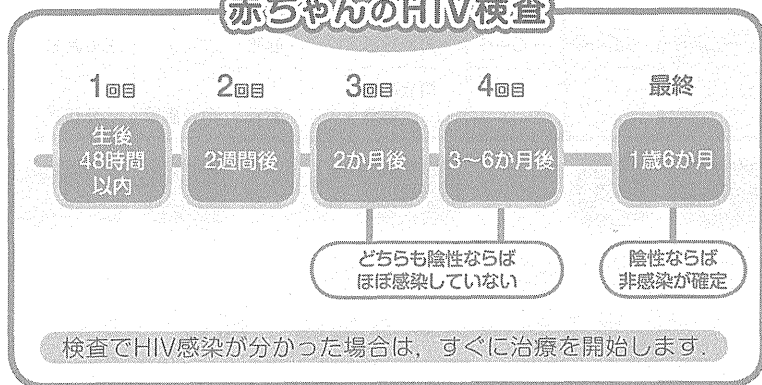


### ◆ 赤ちゃんの感染の有無の判定時期

赤ちゃんが生まれたら、血液検査でHIV-RNA量を調べます。検査は出生48時間以内、2週間後、2か月後、3～6か月後、1歳6か月の5回実施します。3回目と4回目の検査結果が陰性であれば、9割以上の確率で感染は否定できます。最終的に感染していないと診断する検査は1歳6か月で実施します。



## 赤ちゃんのHIV検査



## 妊娠～入院前までに実施すること

妊娠週数	～13週	14週～23週	24週～入院前 (24～35週、36週～入院前)	
妊婦健診	1回/2～4週	1回/4週	1回/2週	1回/1週
産科関連 検査・採血	初期検査*1, 超音波検査	血算, 血糖	手術前検査 (X線, 心電図, 血算など), 超音波検査, B群溶連菌感染症検査	
産科関連 手続き	分娩予約 母子健康手帳交付		直接支払制度 産科医療補償制度 入院予約	
産科関連 助産師との面談	妊婦健診案内	出産準備教室 病棟案内	入院オリエンテーション (入院手続き・準備など)	
HIV感染症診療	1回/2～4週	1回/4週	1回/4～8週	
HIV感染症関連 検査・採血	1回/4週 CD4数, ウイルス量, 他 パートナーの検査	1回/4週 CD4数, ウイルス量, 他	1回/4週 CD4数, ウイルス量, 他	
HIV感染症関連 母子感染予防*2 (治療をかねる)	服薬オリエンテーション	抗HIV療法開始	抗HIV療法継続	
HIV感染症関連 手続き	心身障害者手帳 医療費助成制度			
HIV感染症関連 担当看護師との 面談 (指導内容)	HIV感染症の疾患と治療の概要 母子感染予防方法 支援者の確保 (病名打ち明け)	服薬オリエンテーション (服薬方法・飲み合わせなど)	服薬フォローアップ 病名を知る人の確認 (家族などの対応に備えて)	

\*1: 一般に血算, 血糖, B型肝炎, C型肝炎, 梅毒, 風疹抗体, 血液型など  
\*2: 母子感染予防の薬剤は, 抗HIV療法の薬剤と同じです。

Part 2 女性のライフステージにおける特徴

入院～分娩～退院までに実施すること

	経過日数	入院時	37週 予定帝王 切開術後	産後 1～2日	産後 3日	産後 5～6日	産後 7日～退院
産科関連—母親	安静度	制限なし	臥床	離床 制限なし			
	清潔ケア		洗面・ 患露交換	全身清拭 陰部清拭	シャワー	シャワー	シャワー
	乳房ケア			止乳剤服用			必要時 止乳剤服用
	母子ケア		母子・ 家族面会	初回			
	育児指導			母子同室 育児指導		沐浴指導 退院指導	育児指導
HIV関連—母親	検査・ 採血	1回 CD4数, ウイルス量, その他					
	抗HIV薬 の服用	自己管理	一時中止 AZT点滴 (分娩時)	再開(状態 に応じて 自己管理)			
	指導	血液の取 り扱い					
出生児	母子感染 予防		AZTシロ ップ開始 (多剤併用 も含む)	母親管理 児の内服を 母が見学・ 実施			
	検査フォ ロー		HIV抗体検 査/ウイル ス量測定				

Q12 育児に関して  
知っておくべき  
ことはありますか？

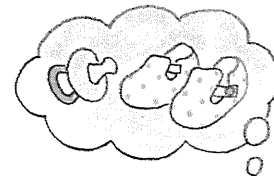
予防接種

乳幼児は生後3か月くらいから、地域の保健所や医療機関で各種の予防接種を受けることになっています。赤ちゃんがHIVに感染していなければ、いずれの予防接種も可能です。以前は、生ワクチンのポリオの予防接種により、赤ちゃんの便の接触でお母さんへのポリオ感染のリスクがありましたが、現在は、不活化ポリオワクチンにより、その心配はなくなりました。

育児相談

あなたが住んでいる地域にも「母子保健」担当の保健師や助産師がいることをご存じですか？

母子保健担当者は、産前の母親学級や産後の新生児訪問、乳児健診や育児相談を行っています。育児に困った時には良いアドバイスがもらえることでしょう。もし、プライバシーの問題が気になるようなら、医療スタッフに相談して、担当保健師を決めてから、かかわり始めるのもいいでしょう。



あなたの了解なしに病院から母子保健担当者にHIV感染について知らせることはありません。あらかじめ担当者にHIV感染を伝えておいてほしい、そのほうが不安や心配が軽くなる、という人もいます。そのような場合は医療スタッフに伝えてもらいましょう。



13

## 妊娠・出産に 役立つ制度は ありますか？

### 経済的負担を軽くする制度

- 医療費や生活費の経済的負担を軽くする制度が各種あります。
- 健康保険とこれらの制度を利用すれば、高額になりがちな治療費負担はかなり軽くなります。
- 制度ごとに条件や申請方法が違うので、詳しいことは、各制度の窓口や病院のソーシャルワーカーに確認してください。

### 妊娠・出産に関する負担を サポートする制度

- 妊産婦が利用できるいろいろな制度があります。
- 妊娠が分かったら、できるだけ早い時期に市区町村の窓口で母子健康手帳をもらってください。
- 一般に分娩のための費用は自己負担になりますが、出産後に健康保険から「出産育児一時金」が支給されます。
- 保険者が出産育児一時金を妊婦に代わって医療機関に支払う「直接支払い制度」を利用すれば、医療機関の窓口で支払う出産費用は出産育児一時金を上回った額のみとなります。
- 経済的に困っている人は入院助産制度が利用できる施設もあります。

### 外国人を対象とした支援

- 国民健康保険は、3か月を越える在留資格があり、住民登録をしている外国人も加入できます。
- 母子健康手帳や入院助産制度などは国籍や滞留資格を問わないので、外国人も利用できます。
- 市区町村によっては、各国語の相談窓口を設けています。
- このほか、各地の支援団体が各国語で電話相談や通訳などの支援をしています。

## 妊娠・出産・育児にがかわる制度

名称	制度の概要	申請窓口
母子健康手帳	妊娠届けを提出し交付される。国籍や滞在資格は問わない。妊娠・出産の状態、乳幼児期の経過、予防接種など母と子の記録をするもの。	市区町村
妊婦健康診査受診票	妊婦健診の費用の一部を公費で負担する。超音波検査は市区町村により対象者、回数が異なる。	市区町村
保健指導票	経済的理由により保健指導を受けられない妊産婦・乳児に対して、必要な保健指導を受ける機会を提供する。所得制限がある。	市区町村
入院助産	経済的に出産費用を支払うことが困難な妊婦に対して、都道府県が指定した入院助産施設（病院）の出産費用が助成される。所得制限及び所得に応じた自己負担がある。	市区町村
養育医療	出生時の体重が2000g以下、または重い病気のある乳児について医師が入院して養育を受ける必要があると認めた場合に医療が給付される。所得に応じた自己負担がある。	市区町村
出産手当金	産休（産前42日目から産後56日目までの範囲）のために給料が受けられないときに支給される。	加入している健康保険
出産育児一時金	出産後に分娩費相当の一定額が支給される。	加入している健康保険
出産育児一時金の直接支払制度	出産育児一時金を医療機関が妊婦に代わって健康保険に請求し、支払いを受ける制度。本人は高額な出産費用を医療機関の窓口で支払わずに済む。	出産予定の医療機関

# 相談をしたり 14 情報を得られる 場所がありますか?

病気のことやいろいろな悩みを相談できる人が身近にいない時は、医療スタッフに相談してみてください。医師には気軽に相談できないという方も、看護師やソーシャルワーカー、カウンセラー、またはボランティアになら話しやすいかもしれません。遠慮せずに話してみましょう。

HIV感染者と関係者の団体も多く活動しています。参加してみたいかでしょう。

人に話すことは自分の気持ちや考え方を整理することにつながりますし、悩みや心配事をひとりで抱え込むより精神的負担も軽くなります。ぜひ、あなたのことを理解し、応援してくれる人を見つけていただきたいと思います。



医療情報などは日々変化するので、新しい情報を得ることはとても大切です。印刷物の情報は古くなっていることも少なくありません。積極的に相談してみましょう。

## 資料1 支援団体紹介

### 特定非営利活動法人 (NPO法人) ぶれいす東京

HIV陽性者とその周囲の人を支援する活動をしています。

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場4-11-5  
三幸ハイツ403  
TEL: 03-3361-8964 FAX: 03-3361-8835

#### ●ポジティブライン

HIV陽性者・パートナー・家族のための電話相談です。匿名での相談も可能です。(厚生労働省委託事業)

TEL: 0120-02-8341  
月～土13:00～19:00 (祝祭日/年末年始を除く)

#### ●対面相談サービス

専任の相談員が対応します。事前の予約が必要です。問い合わせ&予約はTEL: 03-3361-8964 まで。月～土12:00～19:00 (祝祭日/年末年始を除く)

#### ●ネスト・プログラム

HIV陽性者・パートナー・家族など、同じ立場の人たちのための様々な交流プログラムを開催しています。参加するには利用登録が必要です。

問い合わせはTEL: 03-3361-8964  
e-mail: nest@ptokyo.org まで。

#### ●Women's Salon

女性のHIV陽性者のためのプログラムです。

●異性愛者のための交流ミーティング  
異性愛の男女HIV陽性者の交流プログラム。女性の陽性者も多く参加しています。

#### ●web NEST

HIV陽性者とそのパートナーや家族、友だちのために役立つ情報や、経験の共有・共感の場をウェブ上で提供しています。ネスト・プログラムのスケジュールも掲載しています。

<http://web-nest.ptokyo.org/>

### 特定非営利活動法人 (NPO法人) CHARM (Center for Health and Rights of Migrants)

国籍にかかわらずHIV陽性の人を支援しています。

〒530-0031 大阪市北区菅柴町10-19  
TEL/FAX: 06-6354-5902  
E-mail: office@charmjapan.com  
URL: <http://www.charmjapan.com>

#### ●ソーシャルワーカー・カウンセラーとの相談、HIV陽性の女性との相談、年1回の1泊HIV女性交流会

#### ●電話相談 TEL: 06-6354-5901

日本語 ..... 月～木10:00～17:00 (担当: 青木)  
英語 ..... 火, 木16:00～20:00  
スペイン語 ..... 火16:00～20:00  
ポルトガル語 ..... 火16:00～20:00  
タイ語 ..... 水16:00～20:00

### Une fleur \*フランス語で「1輪の花」の意味です。

女性HIV陽性者の会です。

〒160-0004 東京都新宿区四谷3-9 光明堂ビル5F ねぎし内科診療所内  
E-mail: unefleur1999@gmail.com

●1999年、日本エイズ学会にて女性陽性者自ら企画する集まり「Woman's Party」を開催。遠方から来てくださった女性が「ひとりじゃないと感じることができてうれしかった」と言った一言が、その後、不定期ではあるけれど「Woman's Party」を続けてきた私たちの支えになっています。

●講師を招く勉強会+自由なおしゃべり会をしたり、みんなでおいしいものを食べに行ったりしています。(「Une fleur」発行のパンフレットから)



Part 3 相談や情報収集ができる場所

資料2 ACCとエイズ治療拠点病院リスト

国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター(ACC)作成

	病院名	〒	所在地	電話番号
北海道	札幌医科大学附属病院	060-8543	札幌市中央区南一条西16-291	011-611-2111
	北海道大学病院*	060-8648	札幌市北区北十四条西5	011-716-1161
	北海道がんセンター	003-0804	札幌市白石区菊水四条2-3-54	011-811-9111
	市立札幌病院	060-8604	札幌市中央区北十一条西13-1-1	011-726-2211
	北海道医療センター	063-0005	札幌市西区山の手5-7-1-1	011-611-8111
	市立小樽病院	047-8550	小樽市若松1-2-1	0134-25-1211
	市立函館病院	041-8680	函館市港町1-10-1	0138-43-2000
	北海道立江差病院	043-0022	檜山郡江差町字伏木戸町484	0139-52-0036
	旭川医科大学病院*	078-8510	旭川市緑が丘東2条1-1-1	0166-65-2111
	旭川赤十字病院	070-8530	旭川市曙一条1-1-1	0166-22-8111
	市立旭川病院	070-8610	旭川市金星町1-1-65	0166-24-3181
	旭川医療センター	070-8644	旭川市花咲町7-4048	0166-51-3161
	旭川厚生病院	078-8211	旭川市一条通24-111	0166-33-7171
	広域紋別病院	094-8709	紋別市緑町5-6-8	0158-24-3111
	北見赤十字病院	090-8666	北見市北六条東2-1	0157-24-3115
	釧路労災病院†	085-8533	釧路市中園町13-2-3	0154-22-7191
	釧路赤十字病院	085-8512	釧路市新米町2-1-4	0154-22-7171
	市立釧路総合病院	085-8558	釧路市春湖台1-1-2	0154-41-6121
帯広厚生病院	080-8502	帯広市西六条南8-1	0155-24-4161	
青森県	青森県立中央病院†	030-8553	青森市東道2-1-1	017-726-8111
	八戸市立市民病院	031-8555	八戸市田向字毘沙門平1	0178-72-5111
	弘前病院	036-8545	弘前市富野町1	0172-32-4311
岩手県	弘前大学医学部附属病院	036-8563	弘前市本町53	0172-33-5111
	岩手医科大学附属病院†	020-8505	盛岡市内丸19-1	019-651-5111
	岩手県立中央病院	020-0066	盛岡市上田1-4-1	019-653-1151
	盛岡病院	020-0133	盛岡市青山1-25-1	019-647-2195
宮城県	岩手病院	021-0056	一関市山目泥田山下48	0191-25-2221
	仙台医療センター*†	983-8520	仙台市宮城野区宮城野2-8-8	022-293-1111
	東北大学病院	980-8574	仙台市青葉区星陵町1-1	022-717-8220
	仙台西多賀病院	982-8555	仙台市太白区鉤取本町2-11-11	022-245-2111
	仙台市立病院	984-8501	仙台市若林区清水小路3-1	022-266-7111
	宮城県立がんセンター	981-1293	名取市愛島塩手字野田山47-1	022-384-3151
	宮城県立循環器・呼吸器病センター	989-4513	栗原市瀬峰根岸55-2	0228-38-3151
秋田県	宮城病院	989-2202	亶理郡山元町高瀬字合紙原100	0223-37-1131
	大館市立総合病院†	017-8550	大館市豊町3-1	0186-42-5370
	秋田赤十字病院	010-1495	秋田市上北手猿田字苗代沢222-1	018-829-5000
	秋田大学医学部附属病院	010-8543	秋田市広面字蓮沼44-2	018-834-1111
	平鹿総合病院	013-0042	横手市前郷字ハツコ3-1	0182-32-5121

\*ブロック拠点病院 †中核拠点病院

資料2 ACCとエイズ治療拠点病院リスト

	病院名	〒	所在地	電話番号
山形県	山形県立中央病院†	990-2292	山形市大字青柳1800	023-685-2626
	山形市立病院済生館	990-8533	山形市七日町1-3-26	023-625-5555
	山形大学医学部附属病院	990-9585	山形市飯田西2-2-2	023-633-1122
	米沢市立病院	992-8502	米沢市相生町6-3-6	0238-22-2450
	山形県立新庄病院	996-0025	新庄市若葉町12-55	0233-22-5525
	鶴岡市立荘内病院	997-8515	鶴岡市泉町4-20	0235-26-5111
	日本海総合病院	998-8501	酒田市あきほ町30	0234-26-2001
	山形県立河北病院	999-3511	西村山郡河北町谷地字月山堂111	0237-73-3131
	公立置賜総合病院	992-0601	東置賜郡川西町大字西大塚2000	0238-46-5000
	福島県	福島県立医科大学附属病院†	960-1295	福島市光が丘1
白河厚生総合病院		961-0005	白河市豊地上弥次郎2-1	0248-22-2211
公立岩瀬病院		962-8503	須賀川市北町20	0248-75-3111
福島病院		962-8507	須賀川市芦田塚13	0248-75-2131
太田熱海病院		963-1383	郡山市熱海町熱海5-240	024-984-0088
太田西ノ内病院		963-8558	郡山市西ノ内2-5-20	024-925-1188
寿泉堂総合病院		963-8585	郡山市駅前1-1-17	024-932-6363
福島県立医科大学会津医療センター附属病院		969-3492	会津若松市河東町谷沢字前田21-2	0242-75-2100
竹田総合病院		965-8585	会津若松市山鹿町3-27	0242-27-5511
会津中央病院		965-8611	会津若松市鶴賀町1-1	0242-25-1515
福島労災病院		973-8501	いわき市内郷織町沼尻3	0246-26-1111
いわき市立総合磐城共立病院		973-8555	いわき市内郷御殿町久世原16	0246-26-3151
呉羽総合病院		974-8232	いわき市錦町落合1-1	0246-63-2181
南相馬市立総合病院		975-0033	南相馬市原町区高見町2-54-6	0244-22-3181
茨城県	筑波大学附属病院†	305-8576	つくば市天久保2-1-1	029-853-3592
	水戸赤十字病院	310-0011	水戸市三の丸3-12-48	029-221-5177
	水戸医療センター	311-3193	東茨城郡茨城町桜の郷280	029-240-7711
	茨城東病院	319-1113	那珂郡東海村照沼825	029-282-1151
	茨城県立中央病院	309-1793	笠間市鯉淵6528	0296-77-1121
	土浦協同病院	300-0053	土浦市真鍋新町11-7	029-823-3111
	霞ヶ浦医療センター	300-8585	土浦市下高津2-7-14	029-822-5050
	東京医科大学茨城医療センター	300-0395	福数郡阿見町中央3-20-1	0298-87-1161
	茨城西南医療センター病院	306-0433	猿島郡境町2190	0280-87-8111
	ひたちなか総合病院	312-0057	ひたちなか市石川町20-1	029-354-5111
栃木県	済生会宇都宮病院†	321-0974	宇都宮市竹林町911-1	028-626-5500
	栃木県立がんセンター	320-0834	宇都宮市陽南4-9-13	028-658-5151
	栃木医療センター	320-8580	宇都宮市中戸祭1-10-37	028-622-5241
	栃木県立岡本台病院	329-1104	宇都宮市下岡本町2162	028-673-2211
	宇都宮病院	329-1193	宇都宮市下岡本町2160	028-673-2111

\*ブロック拠点病院 †中核拠点病院

# Part 3 相談や情報収集ができる場所

資料2 ACCとエイズ治療拠点病院リスト

	病院名	〒	所在地	電話番号
栃木県	那須赤十字病院	324-8686	大田原市中田原1081-4	0287-23-1122
	芳賀赤十字病院	321-4306	真岡市台町2461	0285-82-2195
	獨協医科大学病院 ↑	321-0293	下都賀郡壬生町北小林880	0282-86-1111
	自治医科大学附属病院 ↑	329-0498	下野市薬師寺3311-1	0285-44-2111
群馬県	足利赤十字病院	326-0843	足利市五十部町284-1	0284-21-0121
	高崎総合医療センター	370-0829	高崎市高松町36	027-322-5901
	群馬大学医学部附属病院 ↑	371-8511	前橋市昭和町3-39-15	027-220-7111
	前橋赤十字病院	371-0014	前橋市朝日町3-21-36	027-224-4585
埼玉県	西群馬病院	377-8511	渋川市金井2854	0279-23-3030
	東埼玉病院 ↑	349-0196	蓮田市大字黒浜4147	048-768-1161
	自治医科大学附属さいたま医療センター	330-8503	さいたま市大宮区天沼町1-847	048-647-2111
	埼玉医科大学病院	350-0495	入間郡毛呂山町毛呂本郷38	049-276-1281
千葉県	埼玉病院	351-0102	和光市藤訪2-1	048-462-1101
	西埼玉中央病院	359-1151	所沢市若狹2-1671	04-2948-1111
	防衛医科大学校病院	359-8513	所沢市並木3-2	04-2995-1511
	千葉大学医学部附属病院 ↑	260-8677	千葉市中央区玄鼻1-8-1	043-222-7171
	千葉医療センター	260-8606	千葉市中央区椿森4-1-2	043-251-5311
	千葉東病院	260-8712	千葉市中央区仁戸名町673	043-261-5171
	順天堂大学医学部附属浦安病院	279-0021	浦安市富岡2-1-1	047-353-3111
	成田赤十字病院	286-8523	成田市飯田町90-1	0476-22-2311
	国保旭中央病院	289-2511	旭市イ1326	0479-63-8111
	国保直営総合病院君津中央病院	292-8535	木更津市桜井1010	0438-36-1071
東京都	鉄蕉会亀田総合病院	296-8602	鴨川市東町929	04-7092-2211
	東京勤労者医療会東葛病院	270-0174	流山市下花輪409	04-7159-1011
	駿河台日本大学病院	101-8309	千代田区神田駿河台1-8-13	03-3293-1711
	聖路加国際病院	104-8560	中央区明石町9-1	03-3541-5151
	東京慈恵会医科大学附属病院 ↑	105-8471	港区西新橋3-19-18	03-3433-1111
	東京大学医学部研究所附属病院	108-8639	港区白金台4-6-1	03-3443-8111
	がん・感染症センター都立駒込病院 ↑	113-8677	文京区本駒込3-18-22	03-3823-2101
	順天堂大学医学部附属順天堂医院	113-8431	文京区本郷3-1-3	03-3813-3111
	東京大学医学部附属病院	113-8655	文京区本郷7-3-1	03-3815-5411
	東京医科歯科大学医学部附属病院	113-8519	文京区湯島1-5-45	03-3813-6111
	日本医科大学付属病院	113-8603	文京区千駄木1-1-5	03-3822-2131
	東部地域病院	125-8512	葛飾区亀有5-14-1	03-5682-5111
	東京慈恵会医科大学葛飾医療センター	125-8506	葛飾区青戸6-41-2	03-3603-2111
	東京都立墨東病院	130-8575	墨田区江東橋4-23-15	03-3633-6151
東京臨海病院	134-0086	江戸川区臨海町1-4-2	03-5605-8811	
昭和大学病院	142-8666	品川区旗の台1-5-8	03-3784-8000	

\*ブロック拠点病院 ↑中核拠点病院

資料2 ACCとエイズ治療拠点病院リスト

	病院名	〒	所在地	電話番号
東京都	東邦大学医療センター大森病院	143-8541	大田区大森西6-11-1	03-3762-4151
	荏原病院	145-0065	大田区東雪谷4-5-10	03-5734-8000
	日本赤十字社医療センター	150-0012	渋谷区広尾4-1-22	03-3400-1311
	東京都立広尾病院	150-0013	渋谷区恵比寿2-34-10	03-3444-1181
	東京医療センター	152-8902	目黒区東が丘2-5-1	03-3411-0111
	東京医科大学病院	160-0023	新宿区西新宿6-7-1	03-3342-6111
	大久保病院	160-8488	新宿区歌舞伎町2-44-1	03-5273-7711
	慶應義塾大学病院 ↑	160-8582	新宿区信濃町35	03-3353-1211
	国立国際医療研究センター病院 **	162-8655	新宿区戸山1-2-1	03-3202-7181
	東京女子医科大学病院	162-8666	新宿区河田町8-1	03-3353-8111
	東京山手メディカルセンター	169-0073	新宿区百人町3-22-1	03-3364-0251
	都立大塚病院	170-8476	豊島区南大塚2-8-1	03-3941-3211
	荻窪病院	167-8515	杉並区今川3-1-24	03-3399-1101
	東京都健康長寿医療センター	173-0015	板橋区栄町35-2	03-3964-1141
帝京大学医学部附属病院	173-8606	板橋区加賀2-11-1	03-3964-1211	
豊島病院	173-0015	板橋区栄町33-1	03-5375-1234	
神奈川県	日本大学医学部附属板橋病院	173-8610	板橋区大谷口上町30-1	03-3972-8111
	武蔵野赤十字病院	180-8610	武蔵野市境南町1-26-1	0422-32-3111
	杏林大学医学部付属病院	181-8611	三鷹市新川6-20-2	0422-47-5511
	東京都立多摩総合医療センター	183-8524	府中市武蔵台2-8-29	042-323-5111
	公立昭和新病院	187-8510	小平市天神町2-450	042-461-0052
	多摩北部医療センター	189-8511	東村山市青葉町1-7-1	042-396-3811
	立川病院	190-8531	立川市錦町4-2-22	042-523-3131
	東京医科大学八王子医療センター	193-0998	八王子市館町1163	042-665-5611
	町田市民病院	194-0023	町田市旭町2-15-41	042-722-2230
	青梅市立総合病院	198-0042	青梅市東青梅4-16-5	0428-22-3191
	東京病院	204-8585	清瀬市竹丘3-1-1	042-491-2111
	多摩南部地域病院	206-0036	多摩市中沢2-1-2	042-338-5111
	日本医科大学多摩永山病院	206-8512	多摩市永山1-7-1	042-371-2111
	横浜市立大学附属病院 ↑	236-0004	横浜市金沢区福浦3-9	045-787-2800
横浜市立みなと赤十字病院	231-8682	横浜市中区新山下3-12-1	045-628-6100	
神奈川県立こども医療センター	232-8555	横浜市長谷区六つ川2-138-4	045-711-2351	
横浜市民総合医療センター	232-0024	横浜市長谷区浦舟町4-57	045-261-5656	
神奈川県立汐見台病院	235-0022	横浜市長谷区汐見台1-6-5	045-761-3581	
横浜市民病院	240-8555	横浜市保土ヶ谷区岡沢町56	045-331-1961	
横浜医療センター	245-8575	横浜市戸塚区原宿3-60-2	045-851-2621	
川崎市立川崎病院	210-0013	川崎市川崎区新川通12-1	044-233-5521	
川崎市立井田病院	211-0035	川崎市中区原井田2-27-1	044-766-2188	

\*\*エイズ治療・研究開発センター(ACC) \*ブロック拠点病院 ↑中核拠点病院